

小・中学校、児童・生徒の保護者の皆様へ

町立湯河原中学校の給食について（検討結果報告）

早春の候、小・中学校保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より、教育行政の推進にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、町立湯河原中学校の給食につきましては、平成 26 年 3 月に P T A の役員、学校関係者等による「湯河原中学校給食検討委員会」を設置し、本格的な検討を開始しました。

また、児童・生徒・保護者の皆様の給食に対する意識やお考えなどを参考とするために、2 回のアンケート調査を実施し、ご協力をいただいたところでございます。

その結果につきまして、本年度、新たに設置された町長と教育委員会で構成される「湯河原町総合教育会議」において、最終的な方向性が示されましたので、経過と合わせてご報告申し上げます。

<<< 検討結果 >>>

「湯河原町総合教育会議」では、これまでの経過やアンケート結果等を踏まえて、慎重に協議した結果として、

- ① 少子化が進む中で、自校調理方式については、建設経費や維持管理費が将来に渡って高額な負担となること
- ② 現在の中学校の敷地に恒久的な給食施設を建設することに疑問の声があがっていること
- ③ 小学校の給食室と併用する親子方式については、現小学校の給食室では、面積的に不足が生じるが、敷地内に増築するスペースがないこと
- ④ 導入コストが抑えられ、実施までの期間も他の方式に比べて短く済むデリバリー方式については、特に中学生の間では、希望者が少なかったこと
- ⑤ 給食に対する保護者と児童・生徒との考えに隔たりがあり、誰のための給食なのかを見定めていかなければならないこと

などから、「今すぐに給食を導入することは困難である。」との結論に至りました。

しかしながら、「6割を超える保護者が給食を要望しているということは、重く受け止める必要があります、引き続き、検討はしていくこととし、今後、少子化の進展に伴って、小中学校のあり方について検討を要する際には、中学校給食の導入についても併せて考えていかなければならない。」とされました。

中学校給食につきましては、以上のような結果となりましたが、この結果に至るまでには、給食検討委員会、町議会の総務文教・福祉常任委員会及び教育施設のあり方等調査特別委員会、総合教育会議などにより、給食のメリット・デメリット、給食の方式、栄養バランス、昼食時間や給食費など様々な角度から検討を重ねていただきました。

保護者の方々の給食導入に向けた熱いご要望も伝わってきた反面、子どもとのコミュニケーションや健康管理面などから、お弁当を子どもに作ってあげたい保護者の「思い」も根強くあり、平成26年12月の湯河原中学校給食検討委員会から報告をいただいた「湯河原中学校への給食導入について」のとおり、様々な課題や思いも寄せられました。

これまでの、経過につきましては、概要を別紙に参考資料として添付をいたしましたので、ご覧ください。

何卒、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

お忙しい中、アンケート調査にご協力いただきました皆様に感謝申し上げますとともに、引き続き湯河原町の教育、学校運営へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成28年3月7日

湯河原町教育委員会